



認定特定非営利活動法人

青少年の自立を支える会 通信

冬

平成30年

会報 第67号

2018年1月

目次

巻頭「永続的解決と子どもの居場所」
速報！総理大臣賞受賞
星の家まつり報告
子ども虐待をなくそう！県民の集い
子どもの居場所担い手育成事業
チャリティーコンサートのご案内
退職のごあいさつ
寄付・会費納入者・編集後記



大晦日の星の家。子連れで帰ってきている元入居者もいます。

永続的解決と子どもの居場所

事務局長 福田 雅章

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

暮れに「内閣総理大臣賞」の朗報が舞い込んできましたが、事務局ではそれに浮かれる余裕はなく、「(2月25日の)チャリティーコンサート」のチケットが売れなかったらどうしよう」と気をもんでいる毎日です。

昨年8月、厚労大臣直轄の検討会がとりまとめた「新しい社会的養育ビジョン」(以下、新ビジョン)が示されました。これは今後の児童家庭福祉の方向性を明らかにしており、青少年の自立を支える会の活動と直接関係するものです。

新ビジョンが目指すことに「永続的解決(パーマネンシーの保障)」があります。これは「将来にわたって関わり続ける人を保障していく」ことです。星の家には、行き場を失った子ども達が最後の拠り所としてやってきますが、彼らは十分に自活できる力を身につけてから退居していくわけではありません。児童福祉は年齢制限のある福祉ですから、不十分な状態でも退居を余儀なくされることもあります。だから星さんは、その後のつながりを大切にしているの

です。退居後に遭遇する困難を目の当たりにしながら思うのは、「この子の家族や親族はいつまでたっているのだろうか、最終的にこの子に責任を持つのは誰なのだろうか」ということです。

パーマネンシーの保障のために大切なことは、まずは家庭から子どもを離さないことです。そのための取組が、子どもの居場所「月の家」なのです。新ビジョンでは、市区町村における養育支援体制を充実させていくことの必要性が謳われており、「脆弱な生活基盤において家庭状況の改善が困難な場合、成長・発達する子どもの立場を考慮し、子どもへの直接的な支援サービスを提供することで、家庭での養育が可能となる場合もある。子どもの育ちを直接的に担うサービスの創造とその具体化がきわめて重要である」と記されています。子どもの居場所は栃木県が先駆的に取り組んでいる事業ですが、新ビジョンを具体化していくものとして全国に広まっていくことが予想されます。

これからも総理大臣賞には恥じない活動を継続していきたいと思いますので、一層のご支援をお願いいたします。



内閣総理大臣賞をいただきました！

12月26日、内閣府において、子供と家族・若者応援団表彰【子供・若者育成支援部門】では最高賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。表彰式には、星理事長の代理で福田事務局長が出席し、松山政司内閣府特命担当大臣・一億総活

躍担当大臣より直接表彰状が手渡されました。

20年間にわたる実績が公に評価されたもので、これまで支えてくださった会員の皆様と喜びを分かち合いたいと思います。

下野新報 2017年(平成29年)12月27日(水曜日) 総合・社会 4

子供と家族・若者応援団表彰

自立援助ホーム「星の家」などを運営する認定NPO法人「青少年の自立を支える会」(宇都宮市清住1丁目)が内閣府の「子供と家族・若者応援団表彰」の子供・若者育成支援部門で最高賞の内閣総理大臣賞を受賞し、表彰式が26日、内閣府で行われた。困難のさなかにある子どもたちに手を差し伸べ、長年にわたり献身的に支援してきた活動が評価された。

星の家の自立を支え20年
子どもの自立を支え20年

宇都宮

同会の「星の家」は、児童養護施設を退所し、行き場を失った青少年が安心して過ごせる場所として1997年に開設された。当時は自立援助ホームが児童自立生活援助事業として法制化される前、児童養護施設職員だった星俊彦理事長が県内の児童福祉関係者が手弁当で始めた。資金面で困難に直面したこともあったが、そのたびに多くの方がボランティアで活動を支えた。

今年で設立20周年を迎えた同会は、この間、ファミリーホーム「はなの家」、子どもの居場所「月の家」を開設し、頼るべき大人のない子どもたちを支え続けている。関わった子どもは200人近くになるという。

表彰式には体調不良の星理事長に代わり、設立当初から関わる福田事務局長が出席し、松山政司一億総活躍相から表彰状を受け取った。

福田事務局長は取材に、林芳正文部科学相は26日の閣議後記者会見で、長時

「もつて5年と言われた活動が20年続いた」と感慨深そうに振り返った。課題は後継者育成。「運営スタッフが職業として携わり、家族を養えるようにするにはまだまだ不十分」と話し、活動継続を誓った。

教員働き方改善
勤務時間

松山1億総活躍相(左)から賞状を受け取る福田事務局長=26日午前、内閣府

10月15日、ろまんちっく村にて星の家まつりが開催されました。

2017年10月15日(日)、星の家まつりが行われました。今年は「道の駅うつのみやろまんちっく村」で開催。初めての場所での開催だったため、どんな感じになるのかイメージが湧かず事前準備が大変でしたが、無事に終えることが出来ました。

ろまんちっく村にやってくる人が、まつりにも流れてくることを期待しましたが、あいにくの雨模様でろまんちっく村は閑散としており、まつりを目的にやってくるお客様ばかりでした。それでもバザーの方は例年通りの盛況でした。屋外での模擬店は雨の影響でもうひとつでしたが、全体では150万円を超える売り上げがあり、十分に満足できる成果を上げることが

できました。協力してくださった皆様に感謝感謝です。

来年もろまんちっく村での開催を予定しています。雨が降らないことを今から祈っています。



賑わうバザー（ろまんちっく村ローズハット）

11月11日（土）、第8回子どもの虐待をなくそう！県民のつどいが
とちぎ青少年センター（アミークス）で行われました。

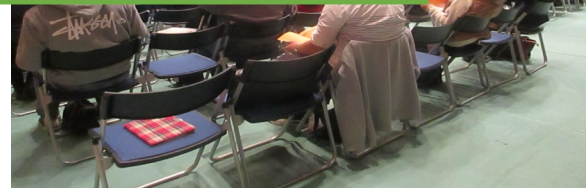
開会挨拶

福田事務局長より開会挨拶がありました。
「昨年児童福祉法が改正され、社会的養育ビジョンが厚生労働省から出され、パーマネンシー保障が明確化され、その子にとってずっと関わり続ける大人は誰なのか、そこを保障していくというものである。

虐待防止は市町村レベルでの子育て支援が必要であり、家庭か施設かではなく、家庭にお

いて親子分離をできるだけ避けることが子ど

もの権利保障になる。子どもを家庭から離さない支援が大切であり、たとえ離すことになっても特別養子縁組や里親養育をしていくことも必要である」



第一部 基調講演

テーマ 「地域における子どもの安心・安全の基地作り」

講演者 北海道大学大学院教育学研究院教授 松本 伊智朗 氏

貧困率とは、所得分布の中央値の2分の1、平均所得の半分くらいのところを基準に貧困線にして、その貧困線の所得未満で暮らす人の割合である。平成27年度調査では、一人世帯の貧困線122万円、四人世帯244万円で、貧困率は15.9%、子どもの貧困率（貧困線未満で暮らす子どもの割合）は13.9%であった。

日本では、税と社会保障の仕組みは子育て世帯の貧困率を下げるということにはあまり機能しておらず、子育て世帯には厳しい政策をとっているため、子どもの貧困率を考えると、ただ単に景気が悪くなったから貧困率が上がる、景気が良くなったから下がるという経済政策を考えがちだが、そうではなく社会保障政策と社会政策の関数である。

世帯別で見ると、母子世帯の貧困率が非常に高く、日本と韓国以外は、非就労世帯の貧困率も高

く、働いている親と働いてない親の家計では、働いていない親の世帯の方が貧困率が高いのは当たり前であるが、日本と韓国は就労世帯と非就労世帯での貧困率は変わらない。要するに安月給であり、就労しても貧困線まで届かない家計が多いからである。母子世帯の母親は、正職員も多いがパートやアルバイトも多く、夜勤や早朝勤務が多い。離婚をして就労するとき、資格やキャリアがある場合もそうだが、サービス業やケア労働、介護労働など夜勤がある仕事が多く、一人親家庭のお母さんは稼ぎ手であり育児もするため、両方やらなければならない人ほど金銭面が大変か、生活面が大変か、あるいはどちらも大変になってしまう。（講演の一部です）

第二部 シンポジウム

テーマ 「子どもの居場所について考える」

コーディネーター 松本 伊智朗 氏

シンポジスト 居場所「おひさま」代表 高橋 弘美 氏

日光市人権男女共同参画課、社会福祉士 立花 梨絵 氏

立花 梨絵 氏

日光市では、NPO 法人だいいじょうぶと連携をとり、日光市の相談員、だいいじょうぶの職員とケースや情報の共有を行い、学校から気になる子の相談があれば、すぐにケース会議を開き、適切な対応をとっている。また、行政と居場所の協働関係も築けている。

未就学児のためのキッズルームを作り、発育不全のように見えた子も通ううちに順調な成長が見られた。

閉会挨拶

青少年の自立を支える会理事長 星 俊彦

本日の参加者は 100 名くらい。来年の県民のつとめでは、今日来ているみなさんが一人知り合いを連れてくれば 200 名になる。200 名いると、社会が変わる。誰一人、忘れられた子どもにしないようにしていきたい。

子どもと接していて、奇声を発したり、こだわりが強かったり、寂しげな表情を見せる場面があり、育ちの中でその子の能力が十分に発揮されていないと感じる。子ども同士やたくさんの大人と

4

子どもの居場所担い手育成事業

本会では栃木県より、平成29年・30年度の2か年にわたって、子どもの居場所担い手育成事業の委託を受けています。この事業は「月の家」のような居場所を増やしていくために、居場所の担い手を育成していく必要があることから行われているものです。

事業内容として専門研修、事例研修会、ネットワーク会議、マニュアル作成などがありますが、今回の会報では、これまでに3回実施された専門研修について報告します。

第1回 平成29年11月4日（土）

テーマ：社会的養護の現状とこれからの方向性

講師：栃養協会長・青少年の自立を支える会事務局長 福田 雅章 氏

養徳園は60年を迎え、卒園者の追跡調査を行うが、昔の子はほぼ所在が分からない。

昭和48年に施設から高校進学が出来るようになり、9割が進学。高校進学率は高くなったが、高校中退率も高くなった。（世間1.6%、施設17%）力がある子は支援をしてもらえが、そうではない子は切り離されてしまうため、高校を辞めさせない支援をしていかなければならない。また、高校卒業後の進路は多くが就職であるが、中には大学に進学する子もいる。しかし、せっかく進学しても半分から4分の1は途中で辞めてしまう。大学の中には社会的養護の子の特別枠を設けているところもあり、意欲があれば施設の子にも進学のチャンスはある。

児童虐待防止法の成立後、虐待件数の数字が上がってきており、施設に来る主な理由を見ても虐待が37.9%。栃木県の場合、児相への虐待件数のうち、施設入所になるのは7%ほどで他の子は家庭に居て、一度保護をしても半数が虐待



の再被害に遭い、一回の保護では施設入所にはならない。また、施設の枠の不足で受け皿がないのが現状で、里親に期待をするしかない。

家庭か施設かではなく、養育の機能を柔軟に使っていくことが必要で、居場所などは親戚の役割を果たさなければならない。子どもは取り巻く大人の人間関係の相互作用によって育っていくため、色々な大人と関われる場所を作り、子どもを預かることが親支援にも繋がっていき、親がSOSを出しやすい仕組みにすることで、虐待の重度化の防止や親子分離の抑制になる。

第2回 平成29年11月25日（土）

テーマ：子どもの居場所の実際

講師：子どもの居場所連絡協議会会長 認定NPO法人だいじょうぶ理事長 畠山 由美 氏

児相は、ネグレクトの子どもを保護する余裕はなく、親がいて学校に通っていれば生存確認になるため、保護にはならない。妹の世話のために学校を休む子、不登校になっている子、家がゴミ屋敷の子、夜は子どもだけの家庭、親は

そこに住んでいなくてコンビニ弁当を置きに来る家庭など、様々な劣悪な環境の中にいる子ども達に出会って、母と子と一緒に育て直してできるところとして、子どもの居場所を作った。居場所は、「一日来るともっと来たくなる。一人来

るともっと来る。」居場所に来るようになってから学校へ行けるようになったり、臭いがしなくなるなど子どもの状況が変わると、学校や周りの大人が理解をしてくれて、子どもの家庭環境が変わっていく。

居場所のメリットは、一時保護より親の同意を得やすかったり、子どもが安心・安全の中で心も体も元気に成長し、夢や希望が持てること。また、暴力傾向だったお父さんが、ひだまりで子どもの良い話を聞いて、怒る回数が減って肯定的な良い連鎖になり、虐待の連鎖を断ち切ることに繋がっていく。

デメリットは、地域に様々な「居場所」があ

2018.2.25（日）第19回チャリティコンサート
宇都宮市文化会館大ホール 詳細は P7
ったり、守秘義務や個人情報があるため、地域に住む子どものいる家庭の様々な問題が理解されにくいこと。

母と子と一緒に育て直しするのが一番だが、難しい場合は親子分離を促すこともある。



第3回 平成 29 年 12 月 5 日（火）

テーマ：ネグレクト児、発達障害児の理解と対応

講師：栃木県中央児童相談所副主幹兼判定指導課長 岩井 幸祐 氏

ネグレクトは子どもに関心がなく、虐待は子どもに関心はあるが間違った関わり方をしてしまうことである。貧困とネグレクトは違い、貧困は関わりたいが余裕がなく、余裕がないとストレスが高まりそのストレスからネグレクトや虐待を招いてしまう。

貧困には、お金がない物理的な貧困と人との関係性の貧困があり、子ども虐待の要因には、「ひとり親家庭」・「経済的困難」・「孤立」・「夫婦間不和」がある。

愛着（アタッチメント）とは、子どもが不安を感じたときに特定の他者にくっつき安心するシステムであり、親側の感受性や応答性が必要になってくるが、自身が被虐待児であったり、発達障害であるとどちらも鈍くなる。安定的なアタッチメントが得られると、ストレスを感じても欲求が満たされ落ち着き満足できたり、新しいことに挑戦して失敗しても「あの人のところに行けば安心出来る」と分かるため、失敗を恐れなくなったり、保護してもらえるという信頼感・安心感が形成され、行動や感情のコントロールができるようになる。しかし、安定的ではないアタッチメントだと、うまく人間関係を

作れない・問題行動・SOS が出せない・大人に過度に気を遣う・欲求を表出しても満たされず、否定的な感情が湧き、悪循環になる。

また、成長につれてより深くを探索しては親元に戻るため、思春期もアタッチメントが必要であり、学校の先生や友達、恋人、配偶者などが新たな安全基地になる。

アタッチメントには、反応性アタッチメント障害と脱抑制型対人交流障害があり、どちらもアタッチメント対象を持ち得ていない重症の状態である。反応性はどの養育者とも関わることができず、脱抑制型は無差別的に懐いて社交性を示すことが特徴である。アタッチメントの修正には、被虐待歴があっても生涯の中で、一定の安定的対人関係を持つことで獲得できる。



第19回チャリティコンサート

日時 平成30年2月25日(日) 15時開場 15時30分開演

場所 宇都宮市文化会館大ホール

出演者 MAMBO INN 友情出演 石川典子のアメリカンダンスチーム、ワールドワイド宇都宮



チケット販売中(自由席 1000円)(連絡先 星の家 028-666-6023)

出演者の無料出演の協力を得て実施しています。開場を満員にしてその善意に応えたいと思います。

退職のごあいさつ

ありがとうございました！

塩尻真由美

12月31日をもちまして、出産育児に専念するため退職いたしました。支える会に来てからの6年7ヵ月はとても濃密であったという間に過ぎました。社会的養護の当事者としての活動、子どもたちと関わっていくことは心を砕くことも多く、楽ではありませんでしたがどんな時でも大好きな人たちが側で支えてくれました。

こんなに居心地の良い場所に身を置けたことは本当に幸せでした。

できることならもっとお役に立ちたかったのですが、しばらくは新米母として息子との

時間を大切に、みなさんに教えてもらった愛情をたっぷり注いでいきたいと思います。

私は図々しいところがあるので退職＝さよならだとは思っていません。

支える会からもらった安心を力に変えて夫、息子とともに新しい道へ行ってきます！
という気持ち

です。だから、これからもよろしくお願いいたします！



寄

付・会費納入者

平成29年6月27日から平成29年12月末まで 敬称略・順位不同

●正会費

青木孝之 阿久津マキ子 浅香 勉 浅香のり子 浅川信明 阿部充子 天池悦子 天野幸子 荒井敏子 荒川泰行 安城興一 五十嵐紀久子 池谷正宏 石原幹司郎 糸井 克伊藤 一 伊藤米子 岩村由紀乃 宇賀神文雄 内山成史 江連京子 大島 聡 大堀美知 小川暢子 沖杉香織 荻原耕三 小材嘉子 小野澤喜美 片桐洋史 加藤祥圭 加藤雅子 金子 達 川上寿一 川崎直美 北村光弘 喜内敏夫 倉持まゆみ 毛塚義明 古口敏弘 越井みどり 小林幸正 小柳麻衣子 近藤峰明 斎藤幸子 斎藤修一 斎藤 禎 斎藤洋子 坂本真紀子 佐々木康子 笹沼榮子 眞田富美子 白上桂子 鈴木啓市 鈴木崇宏 鈴木友之 瀬畑宥文 早乙女順子 鷹栖律子 高橋昭彦 高橋文吉 高原恵子 田崎祥江 田村範子 田村嘉應 多門 孝 千野ヤイ 塚本明子 手塚美知子 豊田省子 中村和子 西田一之 西山智彦 沼尾浩平 野中芳久 橋本寿美子 橋本正行 塙 智江 平岡真由美 平木千紗子 広岡智子 福澤英子 福田智恵 福田雅章 福田容子 藤井幸子 藤平一恵 星 紀彦 星 秀彦 本田広美 前川隼子 益子 亨 増山民江 増山均 増淵民子 増淵ヨシ卫 松本甚一 宮下浩 宮下雅枝 柳田 俊 矢野浩美 矢野正広 山口京子 山口恵子 山田昭利 山村正治 横松 晃 若林勝治 渡辺ヨシ子

●賛助会費

青木紀夫 青野浩子 青柳美子 阿部美代子 新井重陽 荒井敏子 荒川明美 有村秀人 池 節子 石塚純江 石原栄子 井田紫衣 市川義章 一前久子 稲田恭子 井上紀代子 上田昌弘 上野貞雄 上野統子 浦部延子 江田郁夫 枝野啓子 及川孝子 大浦智子太

2018.2.25 (日) 第19回チャリティコンサート

宇都宮市文化会館大ホール 詳細はP7

田黒武久 太田芳一 大塚武昭 大野育代 大畑玲子 岡田優子 岡本貞子 小川 守 荻町 守 小野崎千鶴子 柿沼恵美子 角海京子 加藤勝子 金子澄子 加納真理 上明戸晋史 上明戸智子 亀田文子 川辺佐知子 川辺 晋 菊池崇訓 君嶋福芳 倉田克己 栗原 都 車田孝夫 古口 保 小島寿美代 小平幸二 児玉恵里 狐塚良子 後藤 隆 小林三千代 小堀栄美子 小堀道和 小森峯子 斎藤孝子 斎藤好江 坂本節子 坂本政子 桜井信正 佐藤明宏 佐藤文代 佐藤正行 佐藤善光 澤田政孝 芝野行雄 下山千恵子 須黒雪枝 鈴木恭子 鈴木法子 曾根美穂子 高久和男 高久礼子 高野孝男 高橋真知子 高柳慎八郎 竹内美由紀 舘野晴代 谷川尚久 谷川麻記 谷崎 誠 谷 博之 田村 隆 槌江徳子 手塚郁夫 寺内晴美 東城 守 豊島優子 中村和夫 長久保ウタ子 永野弘子 中山裕美子 那須恵子 西岡 隆 根本智子 萩原寿夫 橋本恵子 羽生実穂 日野奈々子 檜山昌江 平木 元 平野 敬 廣瀬 裕 福泉水玲 福岡 昭 福田喜江子 福田静江 福田知美 福田初美 福田泰子 藤岡浩美 藤平浩史 藤本 早古澤栄子 増田容子 増淵雅子 松江比佐子 松島澄子 松本美佳子 村上信子 村山雅子 森久美子 安 正幸 山口静江 山口尚子 山崎順子 湯沢千恵子 吉澤卓男 吉田久枝 吉田依子 林谷和憲 林谷政子 和久井隆 鷲尾良司 渡辺厚子 渡部桂子 渡辺秀子

●寄付

青木孝之 青柳美子 阿久津美千代 浅香 勉 阿部充子 新井重陽 荒川明美 荒川泰行 有村秀人 池 節子 石原栄子 石原敏江 井田紫衣 糸井 克 岩田三恵子 岩村由紀乃 岩本友子 上田昌弘 内山成史 枝理恵 株式会社エデンズジャパン 海老原清修 大島 登 大田原恵子 大野育代 大畑玲子 岡田みち子 小川秀子 小川光正 小川八枝子 荻原耕三 小材嘉子 小野崎千鶴子 小野澤昭吉 柿沼真里 角海京子 片岡

2018.2.25 (日) 第19回チャリティコンサート

宇都宮市文化会館大ホール 詳細は P7

昌子 加藤力ヨ 加藤祥圭 加藤雅子 加藤
美恵子 加納真理 鎌田篤子 上明戸晋史
上明戸智子 川上寿一 川田俊彦 川辺 晋
菊池順子 菊池崇訓 喜谷由紀 喜内敏夫
倉前満里子 倉持まゆみ 香田たづ子 小島
寿美代 児玉恵里 小林幸正 小堀栄美子
近藤峰明 齊藤幸子 斎藤孝子 齋藤洋子
齊藤好江 坂本政子 桜井信正 佐々木康子
笹沼栄子 佐藤貴美子 佐藤 洋 佐藤マサ
ノ 佐藤正行 佐藤由紀子 佐野市更生保護
女性会 三栄不動産株式会社 椎野三千子
塩澤久美子 塩澤幹雄 渋井淳子 渋川典子
女性の自立を支える会みどりグループ 女性
の自立を支える会 新宮晴子 菅谷直子 須
黒雪枝 鈴木友之 鈴木八重子 仙波美恵子
(株)太陽警備保障 鷹栖律子 高橋昭彦 高
橋真知子 高原恵子 竹内敏雄 田代英夫
舘野晴代 田中厚子 田村孝夫 田村嘉應
多門 孝 土屋キミ 手塚美知子 寺内晴美
東電労組栃木地区本部 徳原和子 栃木少年
友の会 那珂川町小川更生保護女性会 長靴
をはいたねこ 中島咲江 長嶋須美子 長島
久登 中村右子 中村和子 中村光子 永森
裕子 西田一之 (株)ニッカネ 沼尾浩平
野口英子 野中芳久 萩原寿夫 長谷川正幸
東 揚吾 光と風の家 ひだまりの森クリニ
ック 日原拓美 ひまわり会 平澤照隆 広
岡智子 福澤宏文 福田静江 福田知美 福
田雅章 古頭岳夫 星 紀彦 星 秀彦 本

田紘海 増渕民子 増渕雅子 松永昌子 松
本甚一 宮下 浩 三好洋子 村山雅子 森
敏子 森 菊子 矢口ヨシエ 柳田 俊 矢
野正広 山口京子 山口恵子 山本 緑 横
松 晃 吉田依子 林谷政子 若林平吉 和
久井隆 渡辺厚子 渡辺秀子 渡邊正芳 渡
辺ヨシ子

●団体会費

医療法人ひだまりの森クリニック (有) 在
宅サポートこころ 弁護士法人のぞみ法律事
務所 芙蓉地質株式会社 光と風の家

なお、沢山の方から食品や日用品などの物品
をいただいております。ご芳名は省略させて
いただきますが感謝しお礼申し上げます。

ありがとうございました！

ご不明な点がございましたら事務局までお問
い合わせください。会費の納入及び寄付につ
いては預金口座の引き落としも可能ですので
事務局にご相談ください。

【編集後記】

チャリティーコンサートのチケット買って
ください！今回は著名なミュージシャンを多
数招いてのコンサートです。会場を満員にし
ましょう！

はなの家の塩尻真由美さんが退職しまし
たが、新たに小柳麻衣子さんがスタッフに加わ
りました。宜しくお願いします。(福田)

【会費納入及びご寄付の郵便振替先について】

加入者名：青少年の自立を支える会 口座番号：00140-3-366972

* 通信欄に会員種別・寄付金及びその金額をご記入ください。また、ご入会の方は“入会”とご記入ください。

会員種別と金額は、

正会員：5,000 円、賛助 A：5,000 円／一口、賛助 B：1,000 円／一口、賛助団体 20,000 円／一口です。

*** 振込などの手間が要らない「会費等の金融機関引落し」のご利用をお勧めしております！***

発行者/ 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会 所在地/320-0037 栃木県宇都宮市清住 1-3-48

発行日/ 2018年1月10日

電話/ 028-666-6023 FAX/ 028-666-6024

発行責任者/ 星 俊彦

Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp

編集責任者/ 福田雅章

HP/ <http://www2.ucatv.ne.jp/~sasaeru.snow/>

